

【研究課題名】

国際連携建築都市デザインスタジオ AIAC などを通じた大学**連携の環境**デザイン教育活動

【研究代表者】

大学院政策・メディア研究科 池田靖史

【研究の背景】

建築や都市などにおいてサステナブルな環境で地域の魅力を高めるための具体的な方策が望まれている事が全世界的な課題であることは言うまでもない。そのためには地球環境的な幅広い視点が必要とされ、従来の専門分野的な建築・都市デザイン教育の枠を大きく超えた国際的な人材育成が可能な教育連携が必要である。AIAC(**L'Atelier International de l'Architecture Construite**)は15年以上も毎年開催されている国際的な大学間連携による建築・都市環境のデザイン演習の共同プログラムである。世界中の有名大学で学ぶ建築家の卵たちが毎年1つの地域を選んで都市空間とは何かをデザイン提案で競いながら学ぶ試みで、SFC環境デザインガバナンスプログラムでは2013年度から参加を決め、大学院科目「応用環境デザイン(都市と環境)」のデザイン演習内容をそのままこれに当てる事とした。

AIACの特徴は毎年、調査のためのワークショップに参加教員と学生が世界中から集い、特定の地域の課題と可能性を共有した数ヶ月後に、具体的な環境デザイン提案の発表のために、再度ワークショップを開催して意見交換を幅広く行ったうえ、優秀作品表彰までを行う事にある。慶應大学が初参加した2013年度のAIACは東京の日本橋地区を対象に敷地の調査と学術的国際交流のために100名以上の学生を迎え、優秀賞・最優秀賞を選ぶ審査はパリのユネスコ本部において行われた。2016年度は中米のプエルトリコに課題敷地が選ばれデザインコンクールはバンコクのプラナコン建築大学にて開催された。

【研究の目的】

環境デザインに関する国際的な共同に基づく本研究活動は3つの異なる側面での成果を生む事が期待されている。1つ目はこの演習がレベルの高い競争であることから、国際的な視点を持つ環境デザイン学生を相互作用的に刺激し教育的な効果を得る事、2つ目に他にない国際的に大きな共同研究組織によって行われる事から、環境デザインの技術やその教育方法などについて、相互の比較や参照などによる学術的な発展が期待できること。3つ目に提案された作品が現実の課題への実践的な解決策をフレッシュな視点から提示できるため、現実の地域開発自体にも参考にできる点成果を生むことがで

き、本塾も積極的な参加によって共同学術活動のその効果を最大限に引き出し本塾も積極的な参加によって共同学術活動のその効果を最大限に引き出すことが目的である。

【活動成果報告】

(1) 現地調査ワークショップ

期間 2016年 3月28日～4月2日

プエルトリコ サン・ホアン市 (プエルトリコ工科大学アルクポリ建築学校)

本年度のAIACは中米プエルトリコのサンファン旧市街地を対象にしており、各大学間の学期スケジュール調整の関係からワークショップは3月28日から4月2日まで既に行われ、「応用環境デザイン(都市と環境)」を履修する学生の一部が参加した。

カリブ海東端に浮かぶプエルトリコは大航海時代に大西洋を横断する船の補給拠点として重要な役割を果たし、その海上要塞化された港町サンファンはスペイン植民地時代の街並をそのままに保存したれ地理上も歴史的も特異な世界遺産である。現在はカリブ海の観光スポットとして世界中からのツアー客でにぎわっている。経済的な基盤が十分とは言えないプエルトリコにとっては貴重な観光資源であるものの、新規の開発がほとんど不可能な限定された空間の中で唯一に近い可能性を持つのが、かつては軍事施設に利用されていたラ・ブンティージャという隣接する港湾地区であるが、明確な開発方針が無いままに駐車場などの雑然とした利用がされている。この地区の活用方法を見だし、この歴史的な観光地の未来を開くような提案が求められていることが、プエルトリコのアルクポリ大学から環境デザインとしての課題として説明された。こうした課題について、様々な国からの違った視点での提案が集まる事が期待されており、本塾も積極的な参加によって共同学術活動のその効果を最大限に引き出すことが目的とされた。

2016年3月サン・ホアン市旧市街地にて行われたワークショップ



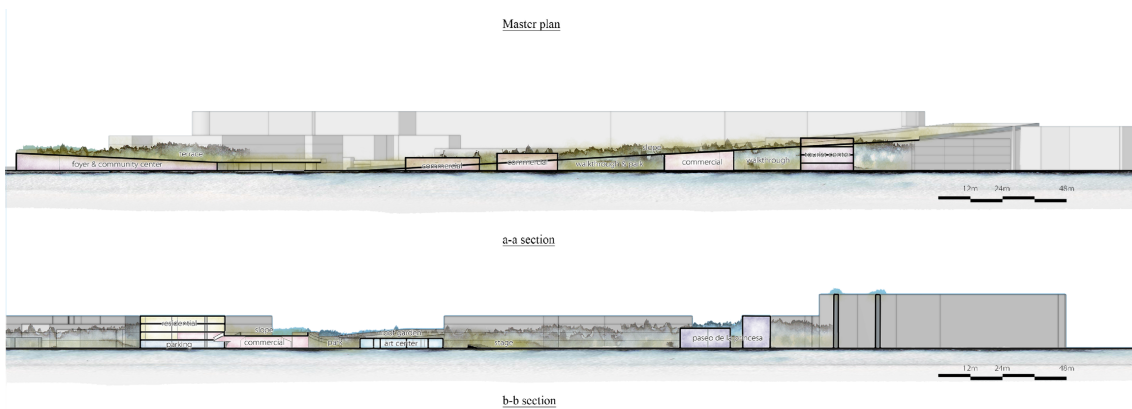
サン・ホアン市旧市街地フィールドワーク



サン・ホアン市でのワークショップの様子

(2) 提案の作成

その後政策メディア研究科修士課程の「応用環境デザイン(都市と環境)」の授業として具体的な環境デザイン提案作成をおこなった



大学政策メディア研究科修士2年の Lwo Liwen さんの提案

(3) デザイン提案講評会の開催と参加

期間 2016年 9月18日～9月20日

タイ バンコク プラナコン大学建築学部

慶應大学参加者 教員3名 政策メディア研究科修士課程学生6名

提案の発表と意見交換のためにタイのバンコクにおいて学生デザイン作品コンクールが開催され、これに参加した。結果として最優秀はマドリッド工科大学が獲得したが佳作の一つとして慶應義塾大学政策メディア研究科の小嶋一耀さんの提案が選ばれた



タイ バンコク プラナコン大学建築学部での作品発表の様子